

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トータスキッズ うみのいえ		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 11月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日 ～ 2024年 11月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々に合わせた環境や課題の設定ができる ・専門的なアセスメントの基に計画が作成され、日々の支援がチームで行われている。	・個別支援計画の検討会議のほか、指導の内容を記録でも確認でき、指導員間でも伝え合うことが出来ている。 ・指導リーダーが適宜確認を行なっている。	・面談に担当も同席できると良い。 ・ケース会議の時に計画を振り返る ・指導案を基に指導を進める
2	保護者と協力して支援に取り組み、保護者サポートも日々行っている。	・子育てサポート支援の活用や指導後の説明時などを活用をしている。 ・保護者会を定期的に行い、横のつながりも広げている。	
3	保護者会や地域イベントなど、地域に開かれた活動を行っている。	支援者研修、地域交流会、地域イベント、シンポジウム開催など。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に向けた活動で、地域の他の子どもとの交流を行っていることが保護者に伝わっていないことがある。	開催することのみのお知らせで、その中の意図まで伝えていない。	事前告知、開催報告等の中に意図していること（地域で活躍できるステージを作っているなど）も含めて、お知らせをする。
2	ヒヤリハットがうまく活用されていない。	すぐに記入できる仕組みになっていない。	窓の転落防止策を講じる。棚の上に滑り止めシートを貼る。 日誌の形態を変え、記入しやすい仕組みにする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 トータスキッズ うみのいえ

公表日 2025年3月17日

利用児童数 37

2024年 11月 15日

回収数

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制・ 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0	他児童と活動のタイミングが重なってしまうと、玩具を踏み蹴るが起る可能性があります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	1	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	2	7		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	1	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	1	1	まだ機会がない	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	2		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	3	事故があったことがないのでわからない	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	時折でも「乗り気がしない時に課題をやる練習」があっても良いかなと思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0	子の特性ですが、課題を嫌がり通所を渋ることがあります。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2	0	0		

備考

いつもありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			2025年 3 月17 日		
トータスキップ うみのいえ							
		チェック項目	はい	いいえ	不明	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	0	1対1の個別指導をおこなっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9	0	0	子どもの状況によっては指導リーダーがサポートに入る時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	0	物理的に難しい部分もありますが、できる範囲でそのお子様に配慮した対応をしていると思います。	本館が3階にあることと、トイレに入り口に段差がある。 棚・ロッカーの上にもものを置くことがあるため、滑り止めシートなどを貼れると良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	0	個室と広くはないがフロアスペースがある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	0	個別支援計画の検討会議のほか、指導の内容を記録でも確認でき、指導員間でも伝え合うことが出来ている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	0	年に一度の責任者との面談の他、必要に応じて対応されている。	定期的に時間が確保できると良い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	0	定期的に時間を確保できると良い。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	0	個別検討会議や指導の様子も共有された上で計画されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	0	指導リーダーが適宜確認を行なっている。	計画に沿った支援するために振り返りの機会はあると良い。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	0		

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	0	・小集団での活動がある。 ・個別のみのお子さんは集団活動の実施は難しいですが、集団クラスのお子さんは適宜組み合わせることができていると思います。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	1	・必要なことは次の支援までに行なっている。 ・必ずではないが行えている。定期的に時間確保できると良い。 ・その日とは限らないが定期的に行われている。 ・その日ではないができています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	1	・必要なことは次の支援までに行なっている。 ・必ずではないが行えている。定期的に時間確保できると良い。 ・その日とは限らないが定期的に行われている。 ・その日ではないができています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	0	海舟への記録を必ずしている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	0		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	9	0	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	0		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	0		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	0		
28	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	0	保護者を通して行なっている。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	1	・必要な場合、適宜行なっている。 ・保護者からの情報としてはある。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	4		・今の所該当者なし。 ・その機会がない。 ・まだそのようなケースがない。 ・対応ケースがない。 ・事業所に移行する生徒がまだいない。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	1	その機会がない。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	0	地域イベントや開催を通してはある。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	0	機会がない。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	0	・子育てサポート支援の活用や指導員の説明時などを活用をしている。	・保護者が来所していない場合は、代表者が定期的にヒアリングをしているが、担当者も同席できると良い。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	0		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	0		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	0	保護者会を定期的に企画している。	兄弟の接点がない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	0	地域イベントを行なっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	0		窓に転落防止対策ができると良い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	3	0	保護者が一緒のことが多い。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	2	・飲食の提供は基本ないが、ある場合保護者の同意を得る。 ・事前アンケートは取っている。	・食事の提供はしていない。 ・食事の機会がない。 ・対応ケースがない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	0		ヒヤリハットの記入は定着されていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	0		